空前絶後。フォーレの室内楽をぜんぶ聴く、海辺の日曜日

フォーレの室内楽曲？　それがマラソンコンサートを組むほどある？？

はっきり言おう。フォーレといって「レクイエム」しか知らないのでは、あまりに惜しい。それは交響曲抜きのベートーヴェン、オペラ抜きのヴェルディ、ピアノ曲抜きのラフマニノフに等しい。そう、室内楽こそ、フォーレの真価が最大限に発揮されたジャンルなのだ。そして室内楽の側からは、こんなお墨付きがあろう。フォーレがいなかったら私たちの歴史はどんなに淋しいものになっていただろうか、と。

だから、国際音楽祭NIPPONの室内楽マラソンが、ブラームス(2022年)、シューマン(2024年)に次いで今回フォーレを選んだのは、じつに自然、いや、ほとんど必然と言ってよい。

その音楽は、愁いを含んでいながら、軽やかである。口ごもっているようで、歌っている。ロマン派の最果てのようで、いにしえの教会風でもある。そして、いつもほんのりと薫っている。同じフランス産でも、これほどかぐわしい音楽はほかにない。

フォーレが遺したその全22曲を、ベテラン奏者と今を時めく若手のスターたちが4部にわたってもれなく聴かせてくれるのである。イム・ユンチャンの師ソン・ミンスや、北村朋幹など、前回までにいなかった逸材も加わる。各部はおおむね、同一編成の作品を中心に組まれているが、若書きの伸びやかなヴァイオリン・ソナタ第1番と枯淡の境地たるピアノ三重奏が並んでいたり、エッジのきいたチェロ・ソナタと粋な小品「子守歌」が並んでいたりと、変化に富んで魅力的だ。そして、最高傑作との呼び声も高い晩年のピアノ五重奏曲第2番が一日を締めくくる。そこに芸術監督の諏訪内晶子が加わるというから、これは掉尾を飾る素晴らしい贈りものとなろう。

こんな機会は、まさに空前絶後。フォーレをその初期から晩期まで、陽光の横浜港が夜にひたされるまで、じっくりと聴き進める。2026年3月1日(日)は、ぜひ、横浜みなとみらい大ホールへ。

舩木篤也（音楽評論）

諏訪内晶子 (ヴァイオリン／国際音楽祭NIPPON2026芸術監督)
Akiko Suwanai, Violin / Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2026
1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでにボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと多数共演。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画し、同音楽祭の芸術監督を務めている。使用楽器は日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグァルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

ベンジャミン・シュミット (ヴァイオリン)
Benjamin Schmid, Violin
カール・フレッシュ・コンクール優勝。小澤征爾指揮ウィーン・フィルほか、ロンドン・フィル、コンセルトヘボウ管などと共演。40枚以上のCDをリリース。ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。ミュンヘン国際をはじめ、国際コンクールの審査員を務める。

金川真弓 (ヴァイオリン)
Mayumi Kanagawa, Violin
2024年ジョルジュ・エネスク優勝をはじめ、数々の国際コンクールに優勝、入賞。国内外の著名オーケストラと共演。ハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに師事。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」(1725年製)。

米元響子 (ヴァイオリン)
Kyoko Yonemoto, Violin
パガニーニ国際コンクール史上最年少入賞。モスクワ・パガニーニ国際コンクール優勝。ロン＝ティボー国際コンクール第3位。CD「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲」は文化庁芸術祭優秀賞、「レコード芸術」特選盤に選出。現在マーストリヒト音楽院教授。

赤坂智子 (ヴィオラ)
Tomoko Akasaka, Viola
第53回ミュンヘンARD国際音楽コンクール・ヴィオラ部門3位。ジュネーヴ音楽院で今井信子に師事ならびに同校助教授に就任。デュッセルドルフ音楽大学、ライプツィヒ音楽大学客員教授を経て現在ミュンスター音楽大学教授。ジュネーヴ国際コンクールを始めとする国際コンクールの審査員を務める。

鈴木康浩 (ヴィオラ)
Yasuhiro Suzuki, Viola
読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。2001年よりカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。天下統一アンサンブル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍。

イェンス=ペーター・マインツ (チェロ)
Jens-Peter Maintz, Cello
1994年ミュンヘン国際音楽コンクールにおいてチェロ部門17年ぶりの優勝者となる。2006年よりクラウディオ・アバドの招聘をきっかけにルツェルン祝祭管弦楽団ソロ・チェリストを務めている。これまでにアシュケナージ、ブロムシュテットらと共演。2004年よりベルリン芸術大学教授。

上野通明 (チェロ)
Michiaki Ueno, Cello
2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門日本人初優勝など、他多数の国際コンクールで入賞。マルタ・アルゲリッチはじめ著名な海外アーティストとも多数共演するなど、国際舞台で次々と活躍。楽器は1730年製A.Stradivarius "Feuermann"(日本音楽財団)を貸与されている。

佐藤晴真 (チェロ)
Haruma Sato, Cello
2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝。18年にはルトスワフスキ国際チェロコンクールにおいて第 1 位および特別賞受賞など多数の受賞歴を誇る。バイエルン放送響はじめ国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している

辻本 玲 (チェロ)
Rei Tsujimoto, Cello
2009年ガスパール・カサド国際コンクール第3位(日本人最高位)。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。ＮＨＫ交響楽団首席チェロ奏者。NPO法人イエロー・エンジェルよりストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。

石井希衣 (フルート)
Kie Ishii, Flute
第10回神戸国際Fl.コンクール3位、第88回日本音楽コンクール2位、第19回 日本Fl.コンヴェンションコンクール1位他、優勝、入賞多数。山田和樹、角田鋼亮指揮モンテカルロ・フィル、東京フィル等と共演。2021・22年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

ソン・ミンス (ピアノ)
Minsoo Sohn, Piano
韓国系アメリカ人。特にバッハとベートーヴェンの解釈において、このレパートリーの第一人者とされている。2020年秋ソニークラシカルより9枚組の「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲」をリリース。2023年秋、ニューイングランド音楽院ピアノ教授陣に加わった。

北村朋幹 (ピアノ)
Tomoki Kitamura, Piano
東京音楽コンクール第1位・審査員大賞、浜松、シドニー、リーズ、ボン（ベートーヴェン)などの国際コンクールで入賞。第75回芸術選奨 音楽部門文部科学大臣新人賞、第76回文化庁芸術祭賞 レコード部門優秀賞、第22回佐治敬三賞受賞。ベルリン在住。

阪田知樹 (ピアノ)
Tomoki Sakata, Piano
2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール第1位、2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位ほか多数受賞。チェコ国立響、ハンガリー国立フィル、ベルギー国立管、N響との共演や世界各地でリサイタル等を重ね、国際音楽祭への出演も多い。

三浦謙司 (ピアノ)
Kenji Miura, Piano
1993年神戸生まれ。アルゲリッチが審査委員長を務めたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて優勝及び3つの特別賞を獲得。ベルリン芸術大学を経てハンス・アイスラー音楽大学で学ぶ。2022年に新アルバム《アイデンティティ》を発表。

葵トリオ
Aoi Trio
第67回ミュンヘン国際コンクール優勝。日本、欧州、アメリカ、アジアでのリサイタルに加え、札響、名フィル、アンサンブル金沢、大フィルとも協演。9枚のCDをリリース。室内楽マスタークラスでの講師も務める。

◇**秋元孝介** (ピアノ)
Kosuke Akimoto, Piano

◇**小川響子** (ヴァイオリン)
Kyoko Ogawa, Violin

◇**伊東 裕** (チェロ)
Yu Ito, Cello

レグルス・クァルテット
Regulus Quartet
2020年結成。桐朋学園大学、東京藝術大学の出身者で構成される。第43回霧島国際音楽祭賞、堤剛音楽監督賞を受賞。原田幸一郎、池田菊衛、磯村和英、毛利伯郎、堤剛、練木繁夫、花田和加子、原田禎夫、山崎伸子、ウェールズ弦楽四重奏団の各氏に指導を受ける。

◇**吉江美桜**(ヴァイオリン)
Mio Yoshie, Violin

◇**東條太河**(ヴァイオリン)
Taiga Tojo, Violin

◇**山本周**(ヴィオラ)
Shu Yamamoto, Viola

◇**矢部優典**(チェロ)
Yusuke Yabe, Cello

≪ 特別料金 ≫［ジャパン・アーツぴあにて受付］

◎**シニア割引**　65歳以上の方は1日通し券¥10,000／各部券￥4,500でお求めいただけます。(各部券は横浜みなとみらいホールチケットセンター、神奈川芸術協会でも受付)

◎**AKIKOシート**　社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。公演当日、学生証（小学生等は保険証など)を拝見いたします。提示がない場合は一般料金との差額を頂戴いたします。

◎**車椅子の方**は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツぴあコールセンターにて受付)

＜次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。＞

①やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

【国際音楽祭NIPPON2026 公演スケジュール】

◆ **サッシャ・ゲッツェル指揮 諏訪内晶子(ヴァイオリン)**
国際音楽祭NIPPONフェスティヴァル・オーケストラ
2月10日(火)19：00　東海市芸術劇場　[問]東海市芸術劇場　0562-38-7030
2月11日(水・祝)17：00　横浜みなとみらいホール 大ホール
[問]ジャパン・アーツぴあ　0570-00-1212

◆ **諏訪内晶子＆フレンズ in 久慈・石巻**
2月21日(土)14：00　久慈市文化会館(アンバーホール)　[問]同左　0194-52-2700
2月22日(日)14：00　マルホンまきあーとテラス(石巻市複合文化施設)
[問]同上　0225-98-5630

◆ **ミュージアム・コンサート**
2月23日(月・祝)19：00　トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー
[問]クラシック名古屋　052-678-5310

◆ **室内楽プロジェクト　Akiko Plays CLASSIC & MODERN with Friends　～中欧の旅**
◇**SELECTION**
2月25日(水)19：00　東海市芸術劇場　[問]同左　0562-38-7030
◇**MODERN**
2月26日(木)19：00　横浜みなとみらいホール 小ホール　[問]ジャパン・アーツぴあ　0570-00-1212
◇**CLASSIC**
2月28日(土)14：00　横浜みなとみらいホール 大ホール　[問]ジャパン・アーツぴあ　0570-00-1212

◆ **フォーレ 室内楽全曲マラソンコンサート**
3月1日(日)11：00　横浜みなとみらいホール 大ホール　[問]ジャパン・アーツぴあ　0570-00-1212

◆ **公開マスタークラス＜ヴァイオリン部門＞＜チェロ部門＞**
3月2日(月)・3日(火)　横浜みなとみらいホール 小ホール　ほか
[問]ジャパン・アーツぴあ　0570-00-1212

《諏訪内晶子 関連公演》　読売日本交響楽団 第655回定期演奏会　2/4(水)19:00 サントリーホール　望月京：ヴァイオリンとオーケストラのための新作（世界初演）ほか　https://yomikyo.or.jp